

院ら 一般社団法人ユニバーサル eスポーツネットワーク設立 障害有無問わず参加支援

障害の有無を問わず eスポーツへの参加を支援するため、障害者とゲーム技術専門家が一般社団法人「ユニバーサルeスポーツネットワーク」を1日に設立し、札幌市中央区南2条東2丁目堀尾ビル内に事務局を置いた。代表理事にeスポーツを通じて筋ジストロ

フィーや重症心身障害児らを支援し、「eスポーツを活性化させるための方策に関する検討会」メンバーでもある国立病院機構八雲病院の田中栄一作業療法士、専務理事には北海道eスポーツ連絡協議会の久保秀一委員長、事務局長に同市内でバリアフリーのイベント企画などを手掛ける大

海恵聖エムブイピークリエイティブジャパン代表が就任。eスポーツは「誰もが、どこにいても、参加できる」ため、障害の有無、性別、体格、年齢、国籍を問わずに競技できるのが特徴だが、現状は一般の人を対象とした環境づくりのみが先行しているという。同法人は障害を持つ

ていても大会に参加できる機器開発のサポート、環境整備によって障害者の自立・社会参加、高齢者の介護予防等を目指す。eスポーツ大会運営支援、支援人材養成も予定しており、「eスポーツを広める情報発信をしていきたい」(事務局)としている。

今後は体験会などを実施し、eスポーツ普及や介護福祉分野における活用法の相談にも応じる。問い合わせは事務局 ☎011-596)9097。